



かわげだより

58号

令和5年12月1日
発行
河芸総合支所 地域振興課
TEL 059-244-1701

情報マガジン

スポーツの秋、芸術の秋…今年の秋は、様々なイベントが河芸地域で開催されました。数年ぶりに開催された行事もあり、主催者、参加者が一丸となって地域の仲間との交流や活動の場を作り、楽しんでいました。

河芸体育祭

(河芸スポーツクラブ)
10月15日(日)
河芸第1グラウンド

前日からの降雨が心配されましたが、運営スタッフの皆さんのグラウンド整備により無事開催することができました。

幼児から高齢者までのべ5000人が、紅白玉入れ、つな引き、大玉ころがしなどの競技に参加し、楽しくスポーツに親しみ、地域住民同士の親睦が図られました。



津市河芸文化祭

(河芸文化祭実行委員会)
11月4日(土)・5日(日)
河芸公民館ほか

2日間でのべ2000人が来場し、河芸町文化協会や、河芸地域公民館講座などの皆さんの作品、4日(土)は音楽演奏・舞踊などの舞台や絵本・紙芝居の読み聞かせ、5日(日)は子ども甲冑体験や輪投げゲームなどを楽しみました。

また、4年ぶりに開催された「河芸こどもたち展」では、河芸地域の保育施設や幼稚園の園児、小中学生の作品を見に、たくさんの方が訪れました。



河芸町老人クラブ 連合会福祉大会

(河芸町老人クラブ連合会)

9月24日(日)

河芸公民館

老人クラブ会員のほか来場者も含め約300名の参加のもと、4年ぶりに盛大に開催されました。

9時に式典が始まり、功労者表彰、来賓祝辞、大会宣言等厳粛な雰囲気の中で進行され、その後、芸能大会へ移りました。

第一部演芸の部では、詩の言葉を独特な日本語調で吟じる詩吟、華やかな日本舞踊、驚きに満ち溢れたマジックショー、優しい音色のオカリナ、台所の鍋など身近な物を利用した力強い器楽など、素晴らしい演技で来場者を魅了していました。

第二部のカラオケでは、全部で45曲歌われ、出演者が好きな曲を元気いっぱい楽しく歌い、大きな拍手が上がっていました。

参加者は楽しく1日を過ごし、温かい声援のもと大変盛り上がりました。



クラス別の合唱コンクールを始め、学年別のステージ発表では、1年生がダンス、群読「ものさし」、2年生がギター演奏と合唱、劇、3年生が人権劇、よさこい、太鼓演奏など様々な演目を披露しました。また、吹奏楽部のコンサート、美術部、科学部の展示と、各教科の授業での取り組み発表もありました。全体進行は、放送部が行いました。

全校生徒530人と参観した保護者が、日頃の活動や学習の成果を鑑賞し、楽しみました。



河芸人権フェスティバル ～夢・希望・きずな～

(河芸人権ネットワーク実行委員会)

11月5日(日)

河芸公民館

4年ぶりに開催された人権フェスティバルでは、人権ポスター・人権標語の作品展示と表彰、町内の中学生による「子ども実行委員会」が地域で活躍する団体取材した「かわげのつむぎ人」の学習発表、落語家の笑福亭学光さんを講師に迎え「決めつけないで!大人が変われば子どもが変わる!」と題した人権講演会が行われました。

河芸地域内外からのべ250人が参加し、楽しみながら人権を考える機会となりました。



河芸地域防災訓練

(津市自主防災協議会河芸支部)
9月3日(日)
千里ヶ丘小学校

消防団河芸方面団をはじめ関係機関の協力のもと、南海トラフ巨大地震の発生による大規模災害を想定した訓練を行い、千里ヶ丘校区の自治会を中心とする河芸地域の住民約100人が参加しました。

この訓練では、段ボールベッドの組立てやガス発電機・投光器の操作、マンホールトイレの設置といった災害時に使用する資機材の取扱い方法とともに、AED心肺蘇生法や液状化現象の実証実験など数多くの訓練を行いました。

訓練の参加者からは、日頃あまり使うことのない防災資機材の取扱い方法を学べたことで、防災に対する意識が一段と高まり、いざというときのために非常に役に立ったという声が寄せられていました。



住宅用火災警報器の設置を

12月に入り空気が乾燥し火災が発生しやすい季節になりました。住宅における防火対策は万全でしょうか。

「住宅用火災警報器」は、平成20年6月から戸建てを含めたすべての住宅に設置が義務化されています。令和5年6月1日時点で津市の住宅用火災警報器の設置率は約74%で、この数字は全国で設置率約84%より低い数値です。有事の際に逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器による防火対策をお願いします。

防火対策のひとつとして「感震ブレーカー」という装置があります。東日本大震災において発生した火災のうち、約54%が電気関係からの出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した際の出火を原因として発生する火災のことです。そのため、地震発生時に自動でブレーカーを落とす感震ブレーカーの設置は、これらの電気火災を防止する有効な手段です。

感震ブレーカーにはいくつかのタイプがあります。それぞれの特徴・注意点を確認した上で、大切なおうちを守るために設置をご検討ください。

●年末警戒を実施します●

年末年始は生活が繁忙となり、諸行事で火気を使用する機会が多くなることから、火災の発生が危惧されます。こうした中、市民への防火意識の啓発を推進強化するとともに、火災の発生、とりわけ危険性の高い

住宅火災等の未然防止を図るため、令和5年12月15日(金)から令和6年1月15日(月)までの間、放火、出火防止の啓発や、屋外に置ける諸行事・イベント等の巡視といった「年末年始消防特別警戒」を実施します。市民の皆様におかれましては、くれぐれも火気の取り扱いに十分ご注意ください。【問合せ】北消防署河芸分署 ☎245-0119

〈感震ブレーカーの種類〉

分電盤タイプ
(後付型)

分電盤タイプ
(内蔵型)

コンセントタイプ
(埋込型・タップ型)

簡易タイプ



市道河芸環状線 工事のお知らせ

右の区間の車道舗装改修工事を行います。工事期間中は、片側交互通行など交通規制を伴います。ご協力をお願いいたします。

【工期】令和5年12月中旬～令和6年2月下旬

【問合せ】津市建設部津北工事事務所 ☎253-2272



獅子舞神楽が行われました

10月8日(日)、東千里の尾前神社で市指定無形民俗文化財である獅子舞神楽が行われました。

尾前神社に伝わる獅子頭は、平安時代末に伊勢国内に悪疫が流行した時に病魔退散祈願のため奉納され、承安4(1174)年には獅子舞祈祷により病魔がたちまち終息したといわれます。

獅子舞神楽は10月の例祭のほか、「四方舞」から始まる九曲を舞う「本舞」と、地域の各戸を回る「門舞(かどまい)」が3年毎の正月に交互に行われます。

尾前神社獅子保存会では、除災招福の獅子舞神楽を忠実に継承し800年以上続く伝統を絶やさぬよう、大人から子どもまで13人が、月数回の練習に励んでいます。



シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の活動として、10月21日(土)に河芸庁舎第1駐車場周辺などの草刈りをしていただきました。



【入会の問合せなど】
津市シルバー人材センター
☎224-4123



道の駅津かわげ からのお知らせ 駅長からのひとこと

道の駅「津かわげ」は今年も年末年始、休まず営業いたします。また、例年好評をいただいている年末感謝抽選会をはじめ、お客様に喜んでいただける地元商品を準備してお待ちしております。

12月に入り寒い時期になりました。スタッフ一同寒さを吹き飛ばす明るい笑顔でお越しをお待ちしております。ぜひ、お立ち寄りいただきますようお願いいたします。

●12月●

毎週土日

カフェコーナーで津ぎょうざ、イカフライ販売

10日【とんかつの日】

とんかつ定食 通常1000円→**800円**

24日【津市の日】

ポイント2倍

24日～【福袋販売(数量限定)】

おみやげやクリスマスプレゼントに、大変お得な詰め合わせ!
地元メーカーのタオル、コーヒー、醤油、〇〇…

25日【バイクの日】

かわげオリジナルパン新製品、お値打ちパンの販売

27日～1月3日

お花の販売スペース拡張(特設テント)
お正月用花、仏花、墓花販売

27日～30日【年末感謝抽選会】

2000円お買い上げごとに、抽選(ガラガラ)1回
【1等】黒田米 【2等】地元とれたて野菜 【3等】お菓子

年末年始のお楽しみイベント

●1月●

3日【すごろく大会】

1000円以上お買い上げで1回

10日【とんかつの日】

24日【津市の日】

25日【バイクの日】

27日・28日【スタンプラリー】

キッチンカー、物販、カフェコーナー、レストランの4か所でスタンプを押してもらおうと商品プレゼント

～地元食材で年末年始のご馳走を～

おせちの食材(田作り、かまぼこ、玉子焼き等)、数の子、カニも特別価格で取り揃えております。



【問合せ】道の駅津かわげ ☎244-2755

■かわげだよりは、年4回発行しています。